

生研公開シンポジウム

身近なまちから創発する 学問・社会リテラシー

—「ぼくらはまちの探検隊」の10年を通して



2014年6月6日(金) 13:30~17:00

定員 100名・入場無料・事前申込み不要

「まち」を観る、想う、そして、関わる。これは、渋谷区立上原小学校と東京大学の大学生、大学院生が10年間かけて創りあげてきた、「まちリテラシー」の根幹です。社会の進化に伴う学問の細分化、教育の深化は、一方でその目標を置き去りにしてきました。わたしたちはそれを「まち」というキーワード、探検という五感の行使を図る、毎年の協働プログラムによって統合化と前進を進めてきました。

しかし、ものごとは10年もたつといういろいろな意味で反省すべき時期だと私は考えています。この「ぼくらはまちの探検隊」も、初心は何であったか、10年間で何を学んだか、そして、さらにこのプログラムを善く鍛えるためにはどうしたらよいかなど、再考すべき点は多々あります。プログラムの持っていた子供たちと専門性の高い大学院生との新しい出会いが驚きを与え、そこで生まれる「まち博士」になりたい、という子供たちの願望こそがこのプログラムの学びの原点であるということを忘れることなく、私たちは、次の10年を構想したいと考えています。(村松 伸)

基調
講演

子供の感受性から 建築を考える

伊東 豊雄

■ 建築家



趣旨
説明

身近なまちから創発する学問・社会リテラシー

—「ぼくらはまちの探検隊」の10年を通して

村松 伸

■ 総合地球環境学研究所・東京大学生産技術研究所 教授

講演

ぼくらはまちの住人だ

—生きものを通してまちを見る

神松 幸弘

■ 京大大学生態学研究中心 技術補佐員、龍谷大学 非常勤講師

「まちを歩く」から「まちを建てる」へ

—探検隊のこれからの10年

林 憲吾

■ 総合地球環境学研究所 プロジェクト研究員

まちの中で学ぶプロジェクト型学習とその評価

森 玲奈

■ 東京大学大学院情報学環 特任助教

尾崎 承子

■ 練馬区立大泉小学校 主幹教諭、学校心理士

パネルディスカッション

[パネリスト]

村松 伸・伊東 豊雄・神松 幸弘・林 憲吾・森 玲奈・尾崎 承子

[ゲスト] 木下 和弘 ■ 渋谷区立上原小学校 校長

[司会] 田口 純子 ■ 東京大学生産技術研究所村松研究室 博士課程

会場

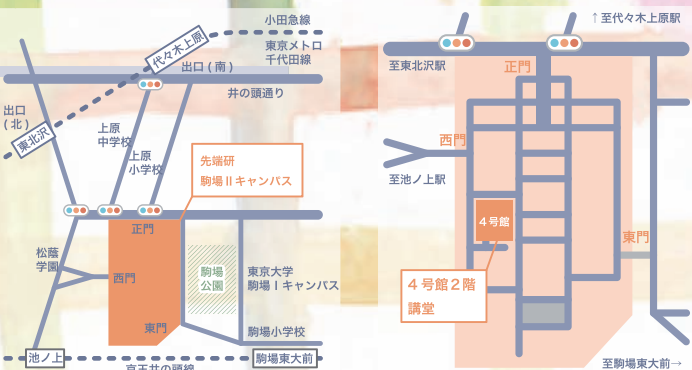
東京大学先端科学技術センター ■ アクセス

4号館2階 講堂

〒153-8904

東京都目黒区駒場 4-6-1

小田急線/東京メトロ千代田線・代々木上原駅より
徒歩 12分
小田急線・東北沢駅より徒歩 8分
京王井の頭線・駒場東大前駅(西口)より徒歩 10分
京王井の頭線・池ノ上駅より徒歩 10分



主催：東京大学生産技術研究所村松研究室

共催：渋谷区立上原小学校

総合地球環境学研究所「メガシティが地球環境に及ぼすインパクト」プロジェクト(代表：村松伸)

日本教育公務員弘済会助成「大学と小学校の連携による『まちリテラシー』向上プログラムの構築と普及」(代表：村松伸)

生研公開シンポジウム

身近なまちから創発する学問・社会リテラシー —「ぼくらはまちの探検隊」の10年を通して

開場・受付 13:00-13:30
開会挨拶 13:30-13:35

DVD上映
13:35-13:45 「ぼくらはまちの探検隊 2014」DVD上映

趣旨説明
13:45-14:25



身近なまちから創発する学問・社会リテラシー —「ぼくらはまちの探検隊」の10年を通して

村松 伸
(むらまつ しん)

総合地球環境学研究所・東京大学生産技術研究所教授。1954年静岡県袋井市生まれ。専門は、東アジア建築史・都市史、まちリテラシー教育学、なかなか遺産保全学、風水学。主著に、『上海・都市と建築』、『中華中毒』、『象を飼う』、『シブヤ遺産』などがある。

基調講演
14:25-15:05

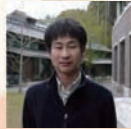


子供の感受性から建築を考える

伊東 豊雄
(いとう とよお)

建築家。1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」、「多摩美術大学図書館（八王子キャンパス）」、「台湾大学社会科学部棟」など。ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、王立英国建築家協会(RIBA) ロイヤルゴールドメダル、プリツカー建築賞など受賞。2011年に設立した私塾「伊東建築塾」では「子ども建築塾」も開講。建築と社会のつながりを深める活動を行っている。

講演1
15:05-15:25



ぼくらはまちの住人だ—生きものを通してまちを見る

神松 幸弘
(こうまつ ゆきひろ)

京大学生態学研究センター技術補佐員、龍谷大学非常勤講師。1973年兵庫県姫路市生まれ。2001年京大大学院修了、博士(理学)。専門は水域の動物生態学。子どもたちを対象に身近な生きものの学習にも取り組む。著書(共同執筆)に『資源人類学 第8巻 資源と commons』(弘文堂)、『生物多様性 子どもたちにどう伝えるか?』(昭和堂)など。

休憩
15:25-15:35

講演2
15:35-15:55



「まちを歩く」から「まちを建てる」へ—探検隊のこれからの10年

林 憲吾
(はやし けんご)

総合地球環境学研究所プロジェクト研究員。1980年兵庫県生まれ。メガ都市プロジェクトメンバー。2009年京大大学院博士課程単位取得満期退学。2009年4月より現職。現在は、インドネシア・ジャカルタにて、地域毎の居住環境の違いや暮らしに対する人々の意識調査などを研究している。2006年には、「ぼくらはまちの探検隊」のコーディネーター役、2007年には、赤組隊長をつとめる。共著として、『千年持続学の構築』、『シブヤ遺産』など。

講演3
15:55-16:15



まちの中で学ぶプロジェクト型学習とその評価

森 玲奈
(もり れいな)

東京大学大学院情報学環特任助教。東京大学大学院学際情報学部博士課程満期退学。博士(学際情報学)。学び続ける人とそれを包み込む社会に関心を持ち、生涯学習に関する研究を行っている。著書に『ワークショップデザイン論：創ること学ぶ』(慶應義塾大学出版会)。東京大学主催のカフェイベント「UTalk」を2008年に立ち上げ、現在も継続中。2008年度日本教育工学会研究奨励賞受賞。2010年度日本教育工学会論文賞受賞。



尾崎 承子
(おざき つぎこ)

練馬区立大泉小学校主幹教諭、学校心理士。千葉大学大学院教育学研究科カリキュラム開発専攻修了。兵庫教育大学大学院教育学研究科特別支援教育専攻修了。♪すずめの学校♪に偏りがちな学校教育に、♪めだかの学校♪を取り入れたいと奔走中。多様な子供たちが通う公立学校だからこそ、多様な学習を経験できる場にしたいと、様々な外部機関と共に授業を行う。「ぼくらはまちの探検隊」には、中央区立佃島小学校教諭時代の2006年に参加している。

パネル
ディスカッション
16:15-16:55

ゲスト
木下 和弘
(きのした かずひろ)
渋谷区立上原小学校 校長

[パネリスト] 村松 伸・伊東 豊雄・神松 幸弘・林 憲吾・森 玲奈・尾崎 承子

[司会] 田口 純子 東京大学生産技術研究所村松研究室 博士課程

同窓会・懇親会 「ぼくらはまちの探検隊」の10年 記念同窓会・懇親会
17:30-

日時：2014年6月6日(金) 17:30～19:30 (17:00より受付)

場所：駒場ファカルティハウス1階 セミナー室

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 (東京大学駒場1キャンパス内) 京王井の頭線 駒場東大前駅(東大口)より徒歩3分

会費：4,500円(高校生以下1,500円、小学生未満は無料です)

要事前申込み

【お問い合わせ/同窓会・懇親会申込み】

東京大学生産技術研究所村松研究室

(担当：田口純子)

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 Bw701

Tel: 03-5452-6442 Fax: 03-5452-6444

Email: jnktgch@iis.u-tokyo.ac.jp

「ぼくらはまちの探検隊」ホームページ

<http://bokumachi.org/>

【同窓会・懇親会申込み方法】

はがき・Fax・電子メールのいずれかで、①郵便番号・住所、②代表者氏名(ふりがな)、③電話番号(※携帯電話番号等、当日にご連絡の取れる番号をご記入ください)、④Fax番号またはEmailアドレス、⑤申込み人数(内、高校生以下/小学生未満の方の人数)、⑥「**ぼくまちは同窓会・懇親会参加**」を明記し、左記へお申込みください。

※この申込みを通じて得た個人情報、連絡業務のみに使用させていただきます。

2014年6月4日(水) 必着